



各 位

平成 21 年 11 月 6 日

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三
 (コード番号 4820 東証 第二部)
 問 合 せ 先 代表取締役専務 青山 明
 (TEL 06-6397-1888)

業績予想（連結・単体）の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表しました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	10,651	△ 1,006	△ 767	△ 835
今回修正予想 (B)	9,345	△ 950	△ 737	△ 830
増減額 (B - A)	△ 1,304	55	29	4
増減率 (%)	△ 12.3%	—	—	—
(ご参考) 前期（平成 21 年 3 月期）実績	8,776	△ 1,316	△ 1,355	△ 1,241

2. 平成 22 年 3 月期 通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）単体業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,323	△ 1,082	△ 862	△ 884
今回修正予想 (B)	5,951	△ 1,089	△ 869	△ 902
増減額 (B - A)	△ 1,371	△ 7	△ 7	△ 17
増減率 (%)	△ 18.7%	—	—	—
(ご参考) 前期（平成 21 年 3 月期）実績	5,599	△ 1,442	△ 1,447	△ 1,281

3. 修正理由

昨年秋以降続いた世界的な不況は一部地域で回復しつつあり、国内の企業業績にも下げ止まりの傾向が出始めておりますが、個人消費につきましては過去最悪の雇用環境が依然として続いており、未だ回復の兆しが見えない状態が続いております。

このような経済状況の中、当社グループの主力事業であります調剤薬局向けシステム事業といたしましては、第 2 四半期まで市場環境が回復することはありませんでした。また、薬価法改正需要のある第 3 四半期以降につきましては、政権交代に伴う不透明感から引き続き市場環境の大きな回復は見込まれないことが予想されます。

そのため、単体業績の売上高につきましては当初予想を下回る見通しですが、上半期に行ったコストの見直しや効率的なオペレーションの向上に加え、さらに踏み込んだ経費削減を行うことにより、損益面につきましては当初予想とほぼ変わらない見込みであります。

連結業績につきましては、損益面において子会社の株式会社祥漢堂ならびに株式会社ラソソテが堅調に推移していることから、当初予想を若干上回る見通しであります。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上